

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和5年6月14日(水)  
13時40分開会 13時59分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：川上 均 副委員長：橋本晃明  
委 員：山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和
- 4 事務局 事務局次長：川口二郎
- 5 議 件  
(1) 所管事務調査の申し出について  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

(1) 所管事務調査の申し出について

【開会 13 : 40】

委員長 (川上 均) : 只今から厚生文教常任委員会を開催する。議件については前回の宿題になっている、所管事務調査の申し出についてである。私の方で過去を含めて調べて皆さんのお手元に資料があると思うが、参考として、これについては平成29年から令和5年までの調査事項の一覧である。ここ3年間はコロナの関係もあり、実際には調査ができなかったというのが現状である。そういう部分では、今、落ち着いたので少なくともこの任期2年間の間には、所管する課それぞれの課題、検討事項について皆さんで協議をいただきながら調査をしてまいりたいと思う。調査事項の検討についてであるが、今後のスケジュールも含めて出してみた。私なりの過去の部分を含めた中の一つの案であるが、保健福祉課については、在宅支援が最近充実してきているので、それらの現状について、町民生活課については、空き家の現状、合同墓の調査についてはどうか、子育て支援については、前回、認定こども園の現状について調べたので、その他皆さんのほうから何かあれば出していただくということと、学校教育については、清水高校の現状、現実2間口になって、これがこのままいくと間違いなく2間口のままになってしまうという現状もあるものだから、これをなんとかできないのかという部分で、清水高校の現状ということで入れた。それから、小中一貫校に向けて町では動いているけれども、先生方に聞いたら教育委員会との話がうまくいっていないみたいで、そういう部分での現状について、ちょっと調査してみたいと思っている。社会教育課については、体育館については前回やったので、町のスポーツの要であるアイスホッケーの現状についてどうかということで出させていただいた。皆さんの方から考えてこられたことがあれば順次出していただきたいと思う。

橋本委員 : 時期的にどうかと思うけれども、本町におけるコロナの状況を振り返って、実際どんな感じだったのかということについてのまとめとか、そういったものは、果たして調査したらわかるものなのか、たぶん、役場担当課に聞いてもわからないのかなという部分が前回の議会でもあったので、医療機関とか保健所とかに行ってお尋ねすればなんとなくわかるのかという部分、振り返りの時期が、今がいいのかわからないけれども、次への備えの中で、参考になるかどうかともわからないけれども、どこかで総括、まとめて振り返るということは必要なのかと、5類に移行してからの体制的なものだとか、そういったものも含めて気になってはいるが、果たして調査の甲斐があるかどうかというところは、検討した上でということになるのかと思う。

委員長 : 橋本委員からは、コロナの状況と今後についての調査についてはどうかということで出された。他にないか。

山本委員 : しみず学童の中を見たいというのはあるのと、給食センターは久しく行ってないので見てみたいということと、自分では行けない渋沢栄一ゆかりの地を巡ったことがないので、気になるなどというのはある。

委員長 : 所管事務調査なので、現状や課題を見るという事では、自分で行ける所は基本的に自分で行って調べてほしいというのがあった、前回もそうだが。ただ、教えてくれるのは教えてくれる。給食センターも中は入れないけれども、試食もさせてくれるし現状を聞くことはできるので、過去の部分を含めて、新しい議員の方についてはないかなとは思いますが、町全体の課題に向けての取り組みだと思うので、そこら辺を念頭に置いて出していきたいと思う。

佐藤委員：JRの新得富良野間、バス転換してこの乗車状況はどうなっているのか聞きたい気がする。

委員長：ただ、所管ではないから。

佐藤委員：それであれば、清水高校の現状について、今、人口が減少してどこの学校も大変な募集問題になっているから、清水高校の現状をちょっと知りたいなと思う。

委員長：佐藤委員からは清水高校の現状についてということでお話しがあった。西山議員はどうか。

西山議員：今言われたように、清水高校、今年の9月に定員発表になるから、その前にやってもいいのではないかと、事情色々聞いてみたらいいかなと思う。

委員長：西山委員からは、清水高校、9月にたぶんこのままいけば2間口になると思われる中で、町として何ができるのかという部分は、やはり後になってからでは遅いと思う。決まってからでは。そういう部分では緊急性の高い課題だと思っている。

桜井委員：清水高校もいいと思うけれども、高校に聞きに行くのか振興会を含めて学校教育の方で調査をするのか、清水高校に聞くということには直接いかないと思うのだけれども。

委員長：他の町の調査やなんか見てみたら、例えば音更なんかも高校に行って直接高校生だとか、先生方とか直にそういう話も聞いているみたいである。だから、1回で終わるのではなくて、何回かに分けて色んな人、教育委員会もそうだろうし、振興会ももちろんそうだろうし、校長先生にも直接話するだとか、やり方は色々あると思う。そういう部分では皆さんから意見を出してもらいながら、様々な視点で取り組んでいくこともできると思う。

桜井委員：それと、先程山本委員が言われた渋沢栄一の関係、これについては1万円札が来年発行ということで、それも時期的にやるなら今やるべきであって、町が深谷市との交流の中で進めようとしている、子どもたちの交流も含めてやろうとしている中で、熊牛自体の住民がなかなか盛り上がっていない部分があるのと、議会自体もわかっているようでわかっている部分があるかなりあるので、町の担当を含めて、交流の場も今後あると思うので、そういった心構えというか、勉強する意味でも多少必要かなという思いはある。

委員長：暫時休憩する

【休憩：13：52】

【再開：13：57】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。今回の所管事務調査については、色々意見をいただいて、清水高校の現状を含めて、清水高等学校への支援策についての調査を行いたいと思うがよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：それではそのような形で進めていきたいと思う。細かいことについてはまた皆さんと協議させていただいて、事務局とも相談しながら進めてまいりたいと思うので、よろしく願います。その他、合わせて、突発的な事項に対応するため、その他所管に関する事項についての申し出も行うということでよろしいか。

(「はい」との声あり)

(2) その他

委員長：それでは、その他、皆さんの方から何かあれば出していただきたいと思うが、なければこれで厚生文教常任委員会を終了する。

【閉会 13:59】